



STANDARD

2026 年 8 月 7 日

各位

会社名 株式会社エヌジェイホールディングス
代表者名 代表取締役社長 福田 尚弘
(STANDARD・コード 9421)
問合せ先
役職・氏名 経営企画室長 野澤 創一
電話 03-5418-8128

業績予想と実績との差異、
貸倒引当金戻入額、営業外収益及び特別損失の計上、
並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、2025 年 8 月 8 日に公表いたしました 2026 年 6 月期通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせするとともに、2026 年 6 月期の連結決算において、貸倒引当金戻入額及び営業外収益を計上し、個別決算において、営業外収益及び特別損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日 2026 年 8 月 7 日付の取締役会決議において、2026 年 6 月 30 日を基準日とする剰余金の配当を無配とすることを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異について

(1) 2026 年 6 月期 連結業績予想と実績値との差異（2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	9,910	150	130	110	20.78
実績値(B)	9,949	183	183	△119	△22.59
増減額(B－A)	39	33	53	△229	－
増減率	0.4%	22.5%	41.0%	－	－
(ご参考)2025 年 6 月期実績	9,107	51	31	31	6.02

(2) 理由

売上高については、モバイル事業において新規出店した店舗の収益寄与や端末価格の上昇により、概ね予想どおりとなりました。

営業利益については、ゲーム事業において、受託開発及び自社開発の各プロジェクトにおける原価の増加等による下回り要因があったものの、モバイル事業において新規出店店舗の利益が計画を上回ったことに加え、下記「2. 連結決算における貸倒引当金戻入額及び営業外収益の計上について」の貸倒引当金戻入額の計上により、予想を上回りました。

経常利益については、上記のとおり営業利益が上回ったことに加え、下記「2. 連結決算における貸倒引当金戻入額及び営業外収益の計上について」の営業外収益の計上により、予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純損益については、下記「3. (3) 特別損失（投資有価証券評価損）の計上について」により、親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

2. 連結決算における貸倒引当金戻入額及び営業外収益の計上について

2026年6月期の連結決算において、当社子会社の取引先に対する売上債権のうち回収に懸念があったものについて貸倒引当金を計上しておりましたが、今般、回収ができたことにより、貸倒引当金戻入額39百万円を販売費及び一般管理費に計上するとともに、受取遅延損害金28百万円を営業外収益に計上いたしました。

3. 個別決算における営業外収益及び特別損失の計上について

(1) 営業外収益（貸倒引当金戻入額）の計上について

2026年6月期の個別決算において、当社の関係会社に対する貸付金について、財務状況が改善した関係会社に対して貸倒引当金戻入額70百万円を営業外収益に計上した一方、財務状況が悪化した関係会社に対して貸倒引当金繰入額47百万円を営業外費用に計上したことから、相殺表示して貸倒引当金戻入額22百万円を営業外収益に計上いたしました。なお、当該貸倒引当金戻入額と当該貸倒引当金繰入額は、いずれも連結決算上では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(2) 特別損失（関係会社株式評価損）の計上について

2026年6月期の個別決算において、当社の連結子会社である株式会社ゲームスタジオ株式について、実質価値が著しく低下したため、「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、関係会社株式評価損125百万円を特別損失に計上いたしました。なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算上では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(3) 特別損失（投資有価証券評価損）の計上について

2026年6月期の個別決算において、当社が保有する投資有価証券について、実質価値が著しく低下したため、「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、投資有価証券評価損192百万円を特別損失に計上いたしました。

4. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年8月8日公表)	前期実績 (2025年6月期)
基準日	2026年6月30日	同左	2025年6月30日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金の総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

(2) 理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つと考えており、中長期的な事業拡大及び新規事業開拓のための内部留保に配慮しつつ、継続的な安定配当を行うことを基本方針としております。

当期（2026年6月期）の連結業績につきましては、前期に引き続き営業利益を計上したものの、親会社株主に帰属する当期純損失を計上いたしました。こうした業績及び財務体質の改善が課題となっていることも踏まえ、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上